

2004年1月4日

東京三菱銀行  
調査室

調査月報・解説/2004年1月：ハードディスクドライブ業界の現状と将来展望  
～デジタルAV時代における電子部品産業のケーススタディとして～

要約文

- (1) ハードディスクドライブ(以下、HDD)とは、ハードディスクと呼ばれる円盤状の記憶媒体に磁気でデータを記録・再生するコンピュータ用の外部記憶装置。わが国と米国メーカーが主要な担い手で、大型：米国主体、小型：わが国主体といった形で棲み分けられている。
- (2) HDDのプレゼンスは、小型HDDがデジタルAV機器に搭載され始めたことが追い風となり、急速に高まっている。しかも、わが国メーカーは、今のところ、小型HDDの領域では、米国メーカーとの棲み分けが進むなかで技術面で先行しており、寄せられる期待は大きい。
- (3) しかしながら、参入業者にとっては、競争の構図が大きく変化するうえ、次の「世代交代」では技術革新のハードルが数段高くなる公算が大きく、むしろ従来より厳しい状況に置かれる。次の世代交代には、従来の枠組みのままでは難しいところもあり、「的確なパートナー選び」が重要になるろうが、技術開発力で見劣りするところは、他社との合従連衡も不調に終わり、整理淘汰される可能性が高い。